取付説明書(共通)

XF11Z/X9Z/X9ZA/X8Z
ワイドXGA LED液晶 メモリーナビ

7WZ
ワイドVGA LED液晶 メモリーナビ

販売店様へ

製品取り付け終了後に、必ずこの取付説明書をお客様へお渡しください。

- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing, LLCの商標または、登録商標です。

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

<電話でのお問い合わせ>
TEL: 0570 − 006636
※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
(携帯電話・PHS:20秒10円)
※ 一部IP電話など接続できない場合には、次の番号をご利用ください。
03-6704-4926
<メールでのお問い合わせ>
ホームページのお問い合わせフォームより受け付けています。

<FAXでのお問い合わせ>
FAX: 045 − 522 − 8700

- **電話受付時間(日、祝日、弊社休業日を除く)**
月〜金: 9:30 〜 17:30
土曜日: 9:30 〜 12:00 13:00 〜 17:00
- アルパインホームページ http://www.alpine.co.jp
アルパイン製品に関してのご質問と回答をご紹介しています。

アルパイン株式会社
Designed by ALPINE Japan

Printed in Japan (Y-753_A1)
68-35792Z42-A

必ずお読みください

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる事故やケガに対して、当社は責任を負いかねます。
- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に取り付けを依頼してください。

- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。
- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業 してください。
- 取り付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取り付けに関わる情報をお買い上げ店より入手してください。
- 車のインパネ等の「取り付け取り外し情報」をお買い上げ店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、取扱説明書も必ずお読みください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 取り付け場所について
ディスクやSDカードの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ取り付け場所を設定してください。
- 水平に対して40度以内に取り付けてください。
- フィルムアンテナ貼り付け前に必ずフィルムアンテナとコードを仮止めして、コードの長さが十分にあること、およびテレビ、ラジオにノイズが入らないことを確認してください。
- 不明な点はお買い上げ店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。

安全にお使いいただくために、必ずお守りください

- この取付説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った使用をした場合に生じる危害・損害の程度の説明

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う危険が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の説明

強制	必ず実行していただく強制の内容を示しています。	⚠	注意(警告を含む)しなければならない内容を示しています。
禁止	禁止(やってはいけないこと)の内容を示しています。		

取り付け・接続

⚠ 警告

強制

DC12Vマイナスアース車専用です
24V車で使用しないでください。事故・火災・故障の原因になります。

取り付け・配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する
取り付け、配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、事故・火災・ケガ・故障の原因となります。また、お客様ご自身による取り付け・配線は、事故・火災・ケガ・故障の原因になります。

説明書に従って、取り付け・配線をする
作業は、手順通りに正しく行ってください。火災・事故の原因になります。

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をする
感電・ケガの原因になります。

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねる
ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故・故障の原因になります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する
ショートにより、火災や感電、故障の原因になります。

安全のため、パーキングブレーキ線を必ず接続する
交通事故の原因になります。パーキングブレーキ線の接続により、走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっています。

ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守る
事故・火災・故障の原因になります。

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管する
誤って飲み込み、事故・ケガの原因になります。飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

フィルムアンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける
視界不良による事故の原因になります。

強制

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する
正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因になります。

禁止

分解・改造をしない
特にコードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。事故・火災・感電の原因になります。

禁止

視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けない
事故・ケガの原因になります。

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わない
制動不能・火災の原因になります。

助手席エアバッグの近くに取り付け・配線をしない
エアバッグの動作を妨げ、死亡事故・ケガの原因になります。

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけない
事故・火災の原因になります。

⚠ 注意

強制

車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネジが緩まないように確実に締め付ける
ネジが緩み、事故・故障の原因になります。

コード類を車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にはさんだり、突起部に当てないよう配線する
断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

付属部品を指定通りに使い、確実に固定する
付属の部品以外の使用や指定用途以外の使用は、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりして運転の妨げとなり、事故・故障の原因になります。

禁止

コード類は絶対に途中で切断しない
コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因になります。

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない
火災や感電の原因になります。

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けない
火災・故障の原因になります。

通風孔・放熱板をふさがない
火災・故障の原因になります。

1. はじめに

1 付属部品を確認し、工具/取り付け情報をそろえる。

- XF11Zをお買上げのお客様は、「XF11Z専用取付説明書」もあわせてご覧ください。

電源コード		外部出力コード	
(XF11Z用)	(7WZ用)	(XF11Z/X9Z/X9ZA/X8Z用)	(7WZ用)
×1	×1	×1	×1

カメラコード	スピードセンサー延長コード	圧着コネクター
×1	×1	×1

テレビ用フィルムアンテナ	GPS/テレビ用フィルムアンテナ	クリーナー
×3	×1	×1

テレビ用アンテナコード(4m)	GPS/テレビ用アンテナコード(4m)	クランプ
(コード番号 1 2 4) ×3	(コード番号 3) ×1	×6

HDMI固定ブラケット	B-CASカード	録音用SDカード
×1	miniB-CAS ×1	(本機に挿入済み) ×1

フェライトコア	スポンジ		ネジ(M5×8)	
	(フェライトコア保護用)	(隙間隠し用) ・XSZ/X9ZA/X8Z/7WZのみ付属	(バインドネジ)	(サラネジ)
×2	×1	×1	×8	×8

<取り付けについて>
XF11Z: 取り付ける車種により、別売の取付金具等が必要になる場合があります。ナビゲーション本体とディスプレイユニットの取り付けについては、「XF11Z専用取付説明書」を参照してください。
X9Z/X9ZA/X8Z: 取り付けには「車種専用パーフェクトフィット」が必要です。取り付け方法について詳しくは、「車種専用パーフェクトフィット」に付属の取付説明書を参照してください。
7WZ: 取り付ける車種により、別売の取付金具等が必要になる場合があります。

<電源コードについて>
XF11Z: 取り付ける車種により、別売の電源コードが必要になる場合があります。
X9Z/X9ZA/X8Z: 電源コード(オーディオ変換コネクター)は「車種専用パーフェクトフィット」に同梱されています。「車種専用パーフェクトフィット」を使用しない場合は、別売の電源コード(KCE-X088)が必要です。
7WZ: トヨタ/ダイハツ車以外では、別売の電源コードが必要になる場合があります。

2 車を安全で平坦な場所に停める。

パーキングブレーキをかけ、エンジンキーを抜く。

3 バッテリーのマイナス端子を外す。

- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消える場合があります。
- 一部の車種(外国車等)では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。

4 取り付ける車種に応じて、インパネ周りやメーターパネル類などの内装部品やオーディオ取付用純正ブラケットを外す。

- 純正ブラケットは、車種によりナビゲーション本体取り付け時に使用する場合があります。

2. フィルムアンテナを取り付ける

⚠ 警告

- 前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバー等運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けないでください。事故・ケガの原因になります。
- コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダル等に巻き付くと、事故・故障の原因になります。

⚠ 注意

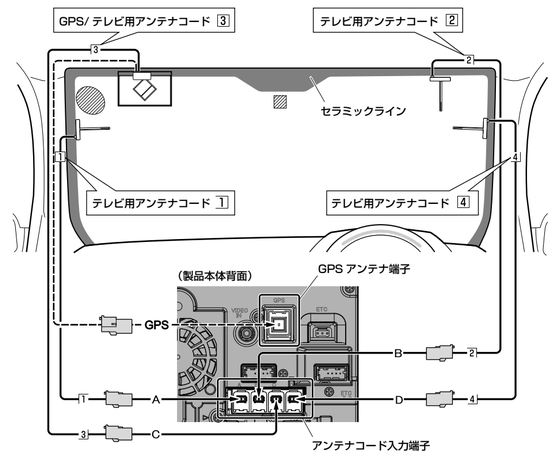
- フィルムアンテナは、一度貼り付けると貼り直しできません。
- フィルムアンテナはとてもデリケートな為、作業時の取り扱いには十分ご注意ください。
- フロントウィンドウに貼り付ける場合、フロントピラーにエアバッグを搭載している車には、取り付けることはできません。また、カーテンエアバッグ近くに配線をする場合は、カーテンエアバッグに干渉しないように配線してください。
- 熱線反射タイプまたは熱線吸収タイプのガラスには、電波を通さないものがありますのでご注意ください。詳しくはカーディーラーへお問い合わせください。
- 車種によっては貼り付けられない場合があります。その場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本フィルムアンテナは、セラミックラインの上に貼り付けても問題はありません。できるだけ車体に近い場所に貼り付けてください。
- フィルムアンテナ貼り付けウィンドウにFM/AMラジオアンテナが内蔵されている場合やTVアンテナ・FM多重用フィルムアンテナ(別売)等をすでに貼り付けている場合は、各アンテナから10cm以上程度離して貼り付けてください。このため指定の位置や寸法内に貼り付けられないことがあります。その場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
- フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。
- 作業場所は風が無く、空気中にゴミ、ホコリ等が無い場所を選んでください。
- 気温が低い時に作業を行う時は、接着力の低下を防ぐため車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフィルムアンテナ貼り付けウィンドウを暖めてから作業を行ってください。
- 車室内に貼り付けるアンテナはエアコン用モーター等から出るノイズにより、テレビの映りが悪くなることがありますが故障ではありません。

フィルムアンテナの取り付けは「フィルムアンテナの取り付け方法(フロントウィンドウの場合)」を参照してください。

フィルムアンテナ取付完成概略図

国土交通省が定める保安基準に適合させるため、フィルムアンテナは、必ず下記のように貼り付けてください。

<車内からみた配線図例>
■ フロントウィンドウの場合



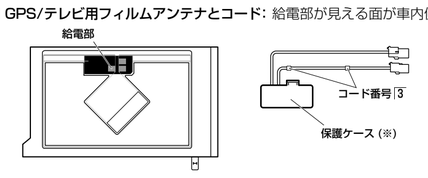
⚠ 注意

正しい接続を行わないと、受信性能の劣化につながります。
- アンテナコード 1 2 3 4 は、必ず決められたテレビアンテナコード入力端子 **A B C D** に接続してください。
- 図の ////// 部分の定期点検ステッカー・検査標章部にはフィルムを貼り付けないでください。

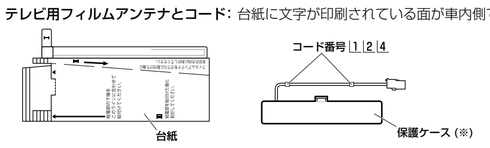
フィルムアンテナの取り付け方法(フロントウィンドウの場合)

フィルムアンテナの貼り付け面とアンテナコード番号を確認する

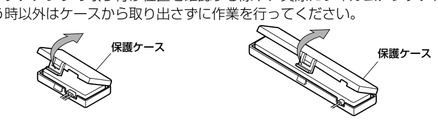
■ GPS/テレビ用フィルムアンテナとコード: 給電部が見える面が車内側です。



■ テレビ用フィルムアンテナとコード: 台紙に文字が印刷されている面が車内側です。



※ アンテナアンプは給電端子を保護するためケースに入っています。
アンテナアンプの取り付け位置を確認する際や、実際にフィルムアンテナに取り付けを行う時以外はケースから取り出さずに作業を行ってください。



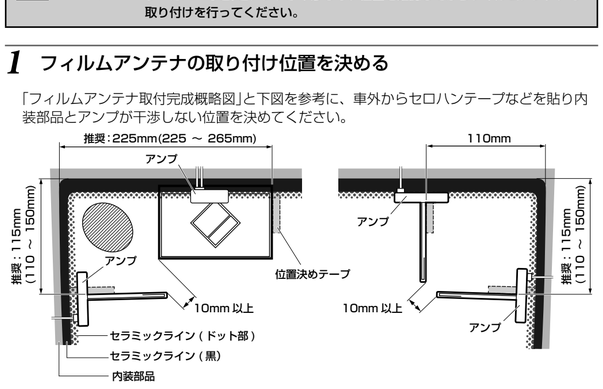
<フィルムアンテナの取り扱いについての注意>
- 透明フィルムや保護フィルムをはがすときはフィルムアンテナを強く曲げないでください。アンテナが断線する恐れがあります。
- 透明フィルムや保護フィルムは急にはがさないでください。アンテナが断線する恐れがあります。
- 透明フィルムや保護フィルムをはがした後は、アンテナに直接触れたり、物を当てたりしないでください。皮脂や埃がつくとアンテナが貼りつかなくなります。

⚠ 注意

- 下記の手順は基本的な取り付けの一例です。必ず車両側の内装部品(内張りやAピラーカバーなど)とアンプが干渉しない位置を確認してからフィルムアンテナの取り付けを行ってください。

1 フィルムアンテナの取り付け位置を決める

「フィルムアンテナ取付完成概略図」と下図を参考に、車外からセロハンテープなどを貼り内装部品とアンプが干渉しない位置を決めてください。



2 車両の内装部品(内張りやAピラーカバーなど)を取り外す

⚠ 注意

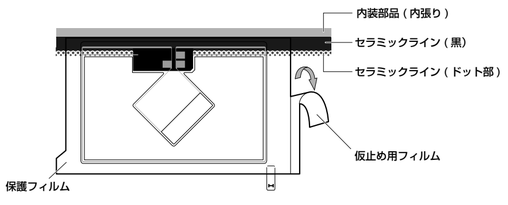
- 樹脂製の内装部品はツメや突起等で固定されており、無理に外すと破損や変形する場合があります。

3 フィルムアンテナを取り付ける

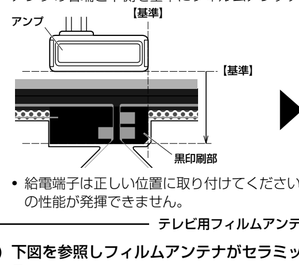
- フロントウィンドウの汚れ(ごみ・油等)やくもり止めを付属のクリーナーを使ってきれいに拭きとってください。油膜や糸くずが残っていると気泡発生の原因になります。
- 水または界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- フロントウィンドウは、完全に乾いた状態にしてから作業を行ってください。
- 冬場での貼り付けの場合は、霜取りやウィンドウ面を暖めてから作業を行ってください。その際は、フィルムアンテナ自体も暖めてください。

GPS/テレビ用フィルムアンテナを取り付ける

1) 仮止め用フィルムをはがし、保護フィルム上部を内装部品(内張り)の端に合わせ仮止めする。



2) タグ[Ⅰ]の透明フィルムをゆっくりはがして、フィルムアンテナをしっかりガラスに密着させる。



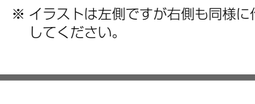
- フィルムの上からアンテナ線を中心に指で強く押す(困難な場合は、樹脂ヘラを使用)。
- 給電部は、気泡が残らないように強めに押しつけてください。
- 気泡が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。
- 一度アンテナがフロントウィンドウに貼り付くと、貼り直しができないので注意してください。

3) フィルムアンテナがフロントウィンドウに定着していることを確認しながら、保護フィルムを左端からゆっくりとはがす。

※ 保護フィルムと一緒にアンテナがはがれる場合は、保護フィルムを一度もとに戻しアンテナ線を中心に強く押して定着させてから再度はがしてください。
※ アンテナを柔らかい布等で上から押さえつける。
- アンテナの上から丁寧に押さえつけてください。
- 給電部には、直接手で触れないでください。皮脂等の汚れが付着すると給電部が錆びて本来の性能が発揮できなくなります。

4) コードを配線する。
- 実際に配線する前に、アンテナコードの番号と「フィルムアンテナ取付完成 概略図」で指定されたフィルムアンテナの位置を確認し、セロハンテープ等で仮止めします。
アンテナコードのアンプ給電端子の先端部が、フィルムアンテナに届くように調整してください。

5) アンプ裏面の保護シートをはがす。



6) アンプをフィルムアンテナに取り付ける。

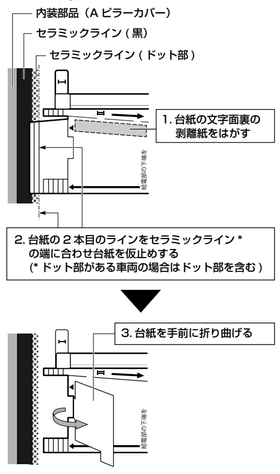
アンプの右端と下側を基準にフィルムアンテナ黒印刷部にアンプを取り付ける。

- 給電端子は正しい位置に取り付けてください。端子のズレや浮き等の原因になり、本機の性能が発揮できません。

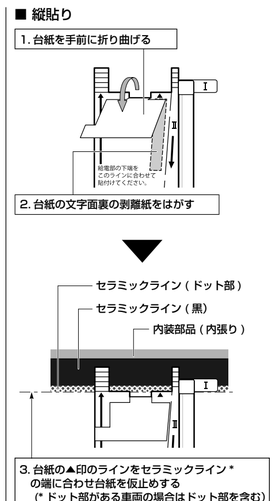
テレビ用フィルムアンテナを取り付ける

1) 下図を参照しフィルムアンテナがセラミックラインに垂直になるよう貼り付ける。

■ 横貼り(左側)



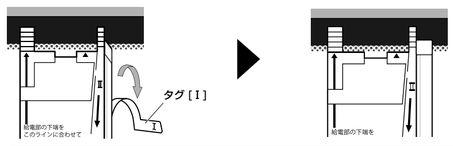
■ 縦貼り



※ イラストは左側ですが右側も同様に作業してください。

2) タグ[Ⅰ]の透明フィルムを ゆっくりはがして、フィルムアンテナをしっかりガラスに密着させる。

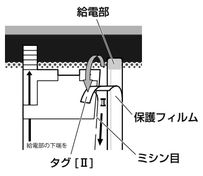
※ イラストは縦貼りですが、横貼り(左右)も同様に作業してください。



- フィルムの上からアンテナ線を中心に指で強く押す(困難な場合は、樹脂ヘラを使用)。
- 給電部は、気泡が残らないように強めに押しつけてください。
- 気泡が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。
- 一度アンテナがフロントウィンドウに貼り付くと、貼り直しができないので注意してください。

3) フィルムアンテナがフロントウィンドウに定着していることを確認しながら、タグ[Ⅱ]と保護フィルムを台紙のミシン目に沿いながらゆっくりとはがす。

※ イラストは縦貼りですが、横貼り(左右)も同様に作業してください。



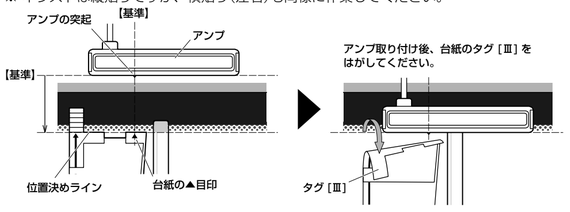
※ 保護フィルムと一緒にアンテナがはがれる場合は、保護フィルムを一度もとに戻しアンテナ線を中心に強く押して定着させてから再度はがしてください。
※ アンテナを柔らかい布等で上から押さえつける。
- アンテナの上から丁寧に押さえつけてください。
- 給電部には、直接手で触れないでください。皮脂等の汚れが付着すると給電部が錆びて本来の性能が発揮できなくなります。

4) コードを配線する。
- 実際に配線する前に、アンテナコードの番号と「フィルムアンテナ取付完成 概略図」で指定されたフィルムアンテナの位置を確認し、セロハンテープ等で仮止めします。
アンテナコードのアンプ給電端子の先端部が、フィルムアンテナに届くように調整してください。

5) アンプ裏面の保護シートをはがす。

6) アンプをフィルムアンテナに取り付ける。

アンプの突起と台紙の▲目印、およびアンプの下端と台紙の位置決めラインを基準にアンプを取り付ける。
※ イラストは縦貼りですが、横貼り(左右)も同様に作業してください。



- 給電端子は正しい位置に取り付けてください。端子のズレや浮き等の原因になり、本機の性能が発揮できません。

4 配線および内装部品を元に戻す。

1) アンテナコード番号を確認し、本機背面の決められたアンテナコード入力端子に接続する。
- アンテナコードは必ず決められたアンテナコード入力端子に接続してください。詳しくは「フィルムアンテナ取付完成概略図」を参照してください。正しい接続を行わないと、受信性能の劣化につながります。

2) 付属のコードクランプを使用して、仮止めしていたコード類を固定し、内装部品(内張りやAピラーカバーなど)を元に戻す。

⚠ 注意

- 内装部品(内張りやAピラーカバーなど)に無理な力を加えたり、折り曲げたりしないように注意してください。
- 配線作業時は給電端子に負担を掛けないでください。給電端子をささえながらコードの配線を行ってください。
- 引き回しに余ったアンテナコードは、他機器の近くには置かないでください。受信性能の劣化がおきる場合があります。

3. 接続する …… 接続するごとに OK に ✓点をつけてください。

1 はじめに

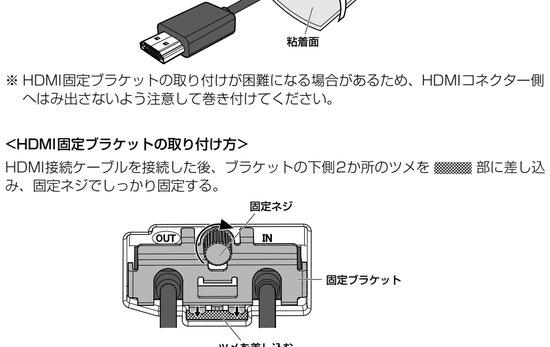
- 接続は、車の電装系を理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- **接続は奥までしっかり差し込んでください。**誤接続を避ける為に、接続するたびに接続図にチェックマークを書き込んでください。
- 接続の際は、それぞれの製品に付属されている専用コードをご使用ください。なお、関連製品の接続に関する説明書も合わせてご覧になり、作業を進めてください。

⚠ 注意

- **正しい接続をする。**
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
接続しないコードは、絶縁テープを巻く等の処置をしてください。

2 車両ハーネスを確認する。

■ 必要に応じて圧着コネクターを装着する。



■ HDMIケーブル接続時の注意

HDMI接続ケーブルを接続する際は、付属のフェライトコアの取り付け、およびHDMI固定ブラケットによる固定を必ず行ってください。

<フェライトコアの取り付け方>
1. HDMIコネクター(本機側)から3cmのところに装着する。

※ 取り付けに支障が生じる場合は、7cm以内に装着してください。

2. 付属のスポンジ(フェライトコア保護用)を適度な大きさに切り取り、保護シートをはがして粘着面を内側にしフェライトコアに巻き付ける。

※ HDMI固定ブラケットの取り付けが困難になる場合があるため、HDMIコネクター側へはみ出さないよう注意して巻き付けてください。

<HDMI固定ブラケットの取り付け方>
HDMI接続ケーブルを接続した後、ブラケットの下側2か所のツメを ▒▒ 部に差し込み、固定ネジでしっかり固定する。

3 接続する。

基本接続図および接続例は裏面を参照してください。

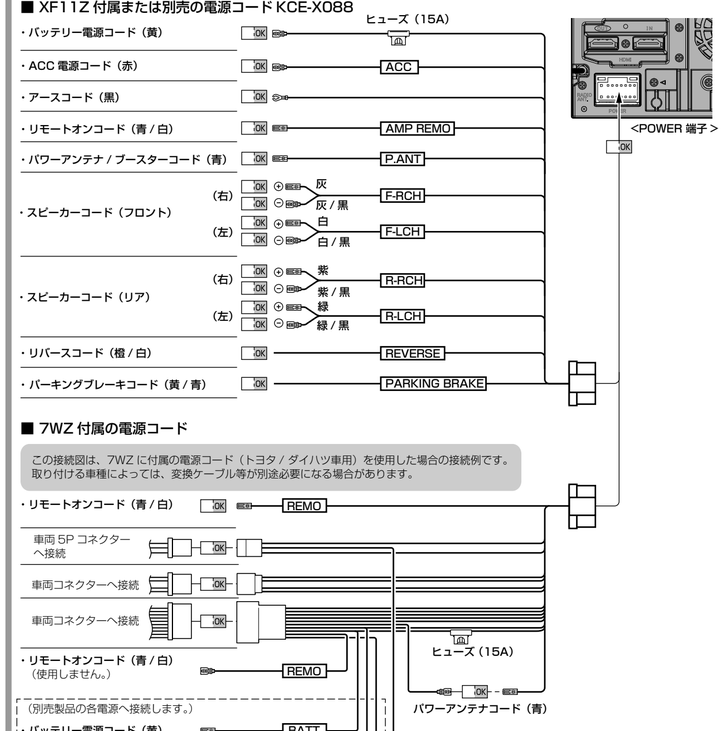
裏面に続く=>

基本接続図

電源コードについて

X9Z/Z9ZA/X8Z に電源コードは付属されていません。
X9Z/Z9ZA/X8Z をお買上げのお客様は「車種専用パーフェクトフィット」に同梱されている電源コード、または別売の電源コード KCE-X088 をご使用ください。

■ XF11Z 付属または別売の電源コード KCE-X088



[コード類について]

・バッテリー電源コード（黄）
常に電源が供給される（バッテリー電源プラス）コードに接続します。
- エンジンキーに関係なく常に電源を本機に供給します。

・ACC 電源コード（赤）
ACC ポジションで電源が供給されるコードに接続します。
- エンジンキーに連動した電源を本機に供給します。

・アースコード（黒）
車のボディーの金属部分に確実に接続してください。
- 不十分ですと雑音や誤動作の原因になります。

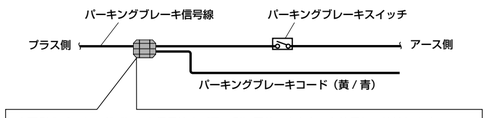
・リモートオンコード（青 / 白）
パワード・サブウーファー追加の際に使用します。
- 本機の電源 ON/OFF とアンプなどの周辺機器 ON/OFF を連動させます。

・パワーアンテナ / ブースターコード（青）
車のパワーアンテナコードまたはアンテナブースターに接続します。
- エンジンキーの ACC ON/OFF に連動してパワーアンテナを伸縮させる信号を出力します。
- ブースターが付いているも のは、必ず接続してください。接続を忘れるとラジオの受信状態が極端に悪くなります。

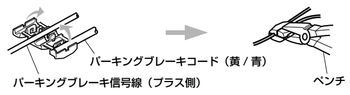
・スピーカーコード
車のスピーカー線に接続します。
- 接続するスピーカーは、インピーダンスが 3.2 ～ 8Ωのものを使用してください。

・リバースコード（橙 / 白）
車のバック時に自車位置精度を向上させるために、車のバックランプ信号線のプラス側に接続します。
- 接続すると車のバック時に自車位置精度が向上します。
- シフトレバーのバックギア（R）に連動して、自車マークが後退するようになります。
- リアカメラ接続時には、シフトレバーのバックギア（R）に連動して、リアカメラの映像に自動的に切りかえます。

・パーキングブレーキコード（黄 / 青）
車のパーキングブレーキ信号線プラス側に接続します。
- パーキングブレーキの状態を本機に伝えるため、パーキングブレーキスイッチのプラス側に必ず接続してください。
- パーキングブレーキ信号線が無い車の場合など不明点は、お買い上げ店にお問い合わせください。

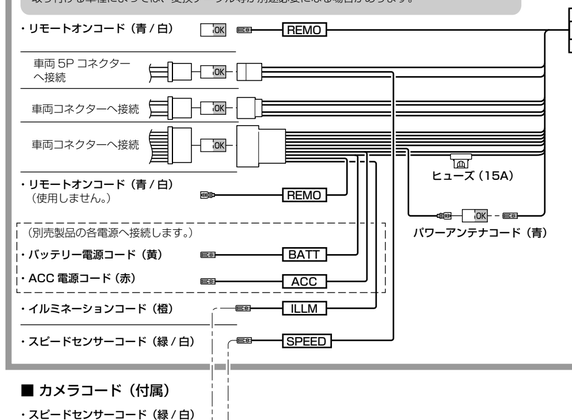


車両側のパーキングブレーキ信号線のプラス側に圧着コネクターを使用して接続します。

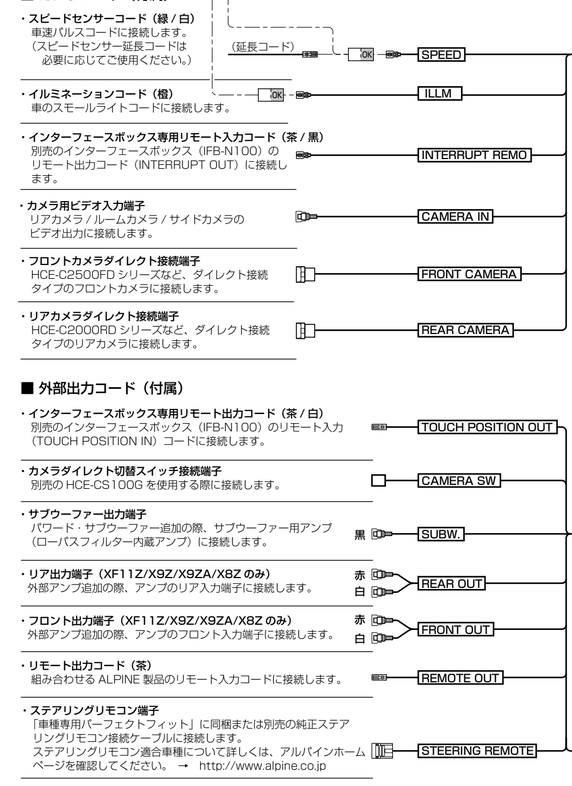


■ 7WZ 付属の電源コード

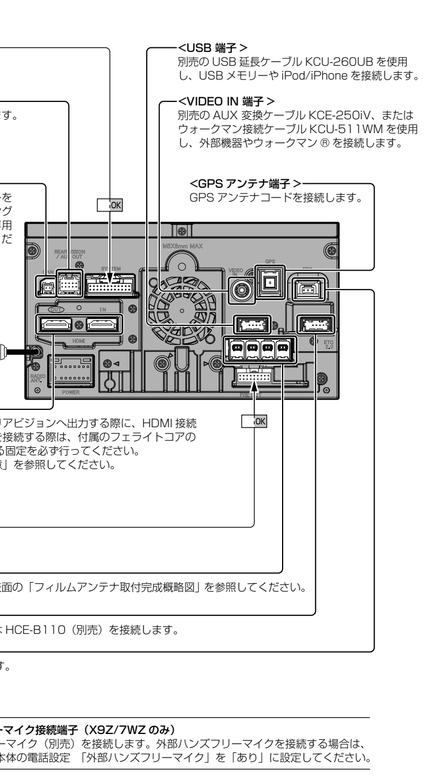
この接続図は、7WZ に付属の電源コード（トヨタ / ダイハツ車用）を使用した場合の接続例です。
取り付ける車種によっては、変換ケーブル等が別途必要になる場合があります。



■ カメラコード（付属）



■ 外部出力コード（付属）

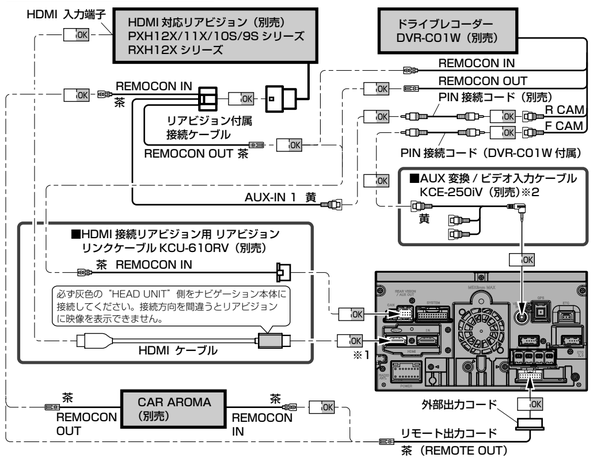


・外部ハンズフリーマイク接続端子（X9Z/7WZ のみ）
外部ハンズフリーマイク（別売）を接続します。外部ハンズフリーマイクを接続する場合は、ナビゲーション本体の電話設定 「外部ハンズフリーマイク」を「あり」に設定してください。

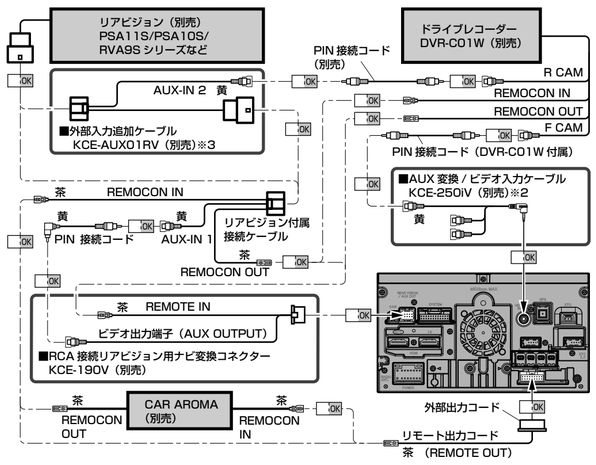
リアビジョンとカーアロマ / ドライブレコーダー を接続する

・リアビジョン側のシステム設定に [コーディネートカラーコントロール / プラズマクラスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。
・カーアロマとリアビジョンを接続する場合は、カーアロマに対応したリアビジョンが必要です。リアビジョンを接続しない場合は「ETC2.0/ETC 車載器 / 外部機器 / カーアロマを接続する」を参照してください。
・リアビジョンとカーアロマ、ドライブレコーダーを同時接続する場合は、必ず下記の接続例に沿って接続をしてください。（REMOCON 線の接続順序を間違うと、製品が正常に作動しません）

HDMI 対応リアビジョンを接続する場合

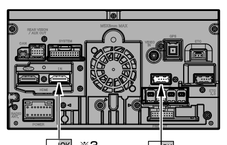


リアビジョンの AUX-IN と接続する場合

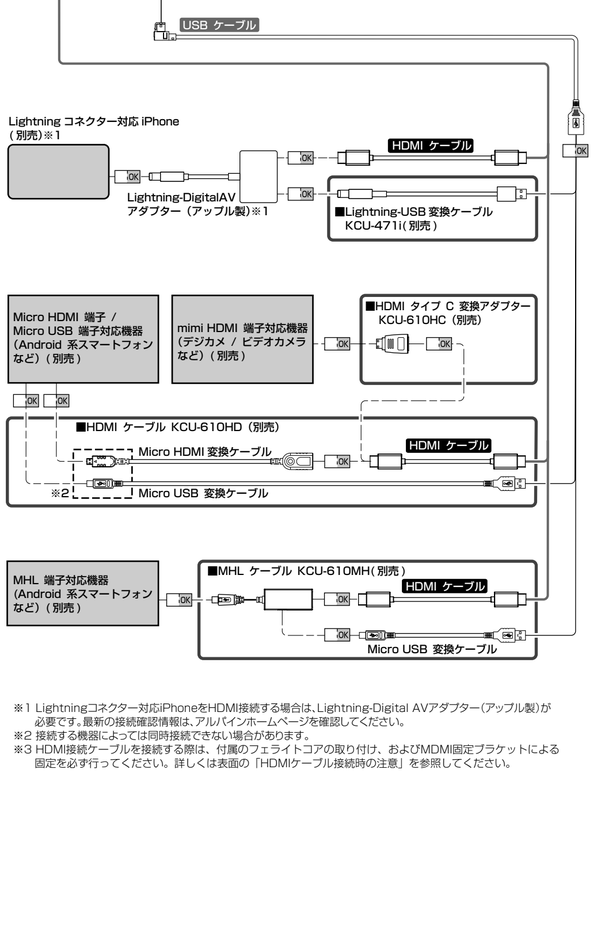


※1 HDMI 接続ケーブルを接続する際は、付属のフェライトコアの取り付け、および HDMI 固定ブラケットによる固定を必ず行ってください。詳しくは表面の「HDMI ケーブル接続時の注意」を参照してください。
※2 ドライブレコーダーの映像を本機に映す場合は、別売の KCE-250iV が必要です。
※3 ドライブレコーダーの映像をリアビジョン（AUX-IN 接続時）に映す場合は、別売の KCE-AUX01RV が必要です。

iPhone やスマートフォンなどを HDMI 接続する

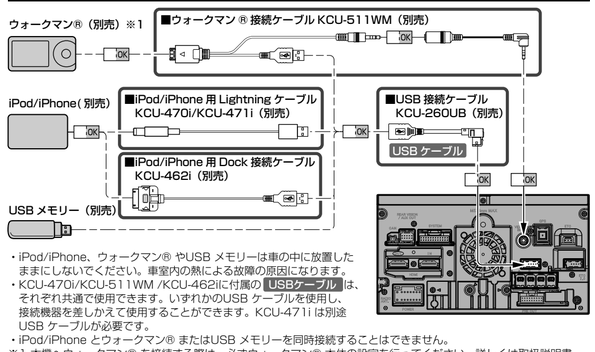


・複数の HDMI 対応機器を同時に接続することはできません。
・iPhone やスマートフォンなどは車の中に放置したままにしないでください。車室内の熱による故障の原因になります。
・本機へ HDMI 機器（スマートフォンやビデオカメラなど）を接続する場合は、それぞれ HDMI 端子タイプに対応した別売の接続ケーブル（KCU-610HD/KCU-610MH/KCU-610HC）が必要です。
別売の接続ケーブル 以には HDMI ケーブル または USB ケーブル が付属されており、それぞれ共通で使用できます。
いずれかの HDMI ケーブル または USB ケーブル を使用し、HDMI 対象機器を並しかえて使用することができます。



※1 Lightningコネクター対応iPhoneをHDMI接続する場合は、Lightning-Digital AVアダプター（アップル製）が必要です。最新の接続確認情報は、アルパインホームページを確認してください。
※2 接続する機器によっては同時接続できない場合があります。
※3 HDMI接続ケーブルを接続する際は、付属のフェライトコアの取り付け、およびMDMI固定ブラケットによる固定を必ず行ってください。詳しくは表面の「HDMIケーブル接続時の注意」を参照してください。

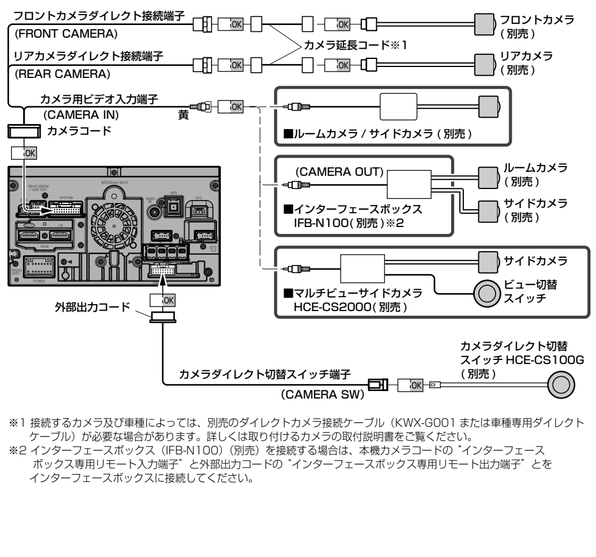
iPod/iPhone やウォークマン ® / USB メモリーを接続する



・iPod/iPhone、ウォークマン® やUSB メモリーは車の中に放置したままにしないでください。車室内の熱による故障の原因になります。
・KCU-470i/KCU-511WM /KCU-462iに付属の USBケーブル は、それぞれ共通で使用できます。いずれかのUSB ケーブルを使用し、接続機器を差しかえて使用することができます。KCU-471i は別途 USB ケーブルが必要です。
・iPod/iPhone とウォークマン® またはUSB メモリーを同時接続することはできません。
※1 本機へウォークマン® を接続する際は、必ずウォークマン® 本体の設定を行ってください。詳しくは取扱説明書「ウォークマン® をつないで使う」を参照してください。（接続するウォークマン® の機種により操作方法が異なる場合があります。）またウォークマン® の機種がビデオ出力非対応の場合には、音声のみでご使用ください。

カメラを接続する

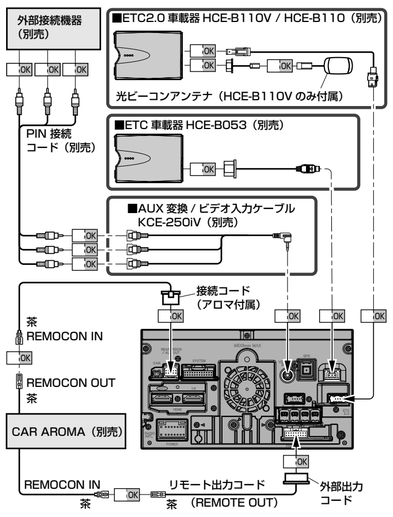
< カメラ接続時の注意 >
・リアカメラを、リアカメラダイレクト接続端子とカメラ用ビデオ入力端子に同時接続することはできません。
・カメラ用ビデオ入力端子に汎用カメラを接続する場合はナビゲーション側で設定が必要です。詳しくは取扱説明書を参照してください。
・トヨタ純正リアカメラ装着車（ナビレディパッケージ等）は、別売の変換ケーブル（KWX-Y300NR）、ホンダ純正リアカメラ装着車（ナビ装着スペシャルパッケージ）は、別売の変換ケーブル（HCE-C03VC または KWX-H001ST）をリアカメラ接続端子に接続してください（純正カメラのタイプにより使用する変換ケーブル・アダプタが異なります）。



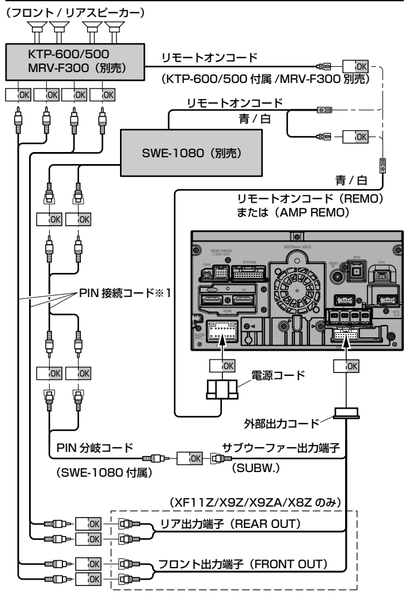
※1 接続するカメラ及び車種によっては、別売のダイレクトカメラ接続ケーブル（KWX-G001 または車種専用ダイレクトケーブル）が必要な場合があります。詳しくは取り付けるカメラの取付説明書をご覧ください。
※2 インターフェースボックス（IFB-N100）（別売）を接続する場合は、本機カメラコードの "インターフェースボックス専用リモート入力端子" と外部出力コードの "インターフェースボックス専用リモート出力端子" とをインターフェースボックスに接続してください。

ETC2.0 / ETC 車載器 / 外部機器 / カーアロマを接続する

<ETC2.0/ETC 車載器について >
・ETC2.0 車載器と ETC 車載器を同時に接続することはできません。
・DSRC 車載器 HCE-B100（別売）およびビーコンユニット HCE-T062（別売）の接続には対応していません。



パワー・アンプ / パワード・サブウーファーを接続する



※1 KTP-600/500は付属、MRV-F300/SWE-1080は別売。

4. ナビゲーション本体を取り付ける

ナビゲーション本体取り付け時のご注意

- 車内の温度が低い（0℃以下）場合は、本機が正常に動作しない場合があります。常温になってからお使いください。
- 本機は精密な部品を用いて精密に組み立てられています。性能を維持するために、ナビゲーション本体に無理な力を加えたり、強い振動を与えたりしないでください。

<ナビゲーション本体の取り付け角度>

- 本機取り付け角度は、下記の角度の範囲内で、なるべく水平に取り付けてください。取り付け角度が大きいと現在地を正しく表示できなくなるほか、本機故障の原因となります。

⚠注意

- **通風孔をふさがない。**
  通風孔をふさがないでください。火災・故障の原因になります。
- 通風孔に強い力を加えないように注意してください。破損の原因になります。
- 取り付けの際、通風孔の開口部にコード類を巻き込まないようにご注意ください。

<XF11Zをお買上げのお客様>

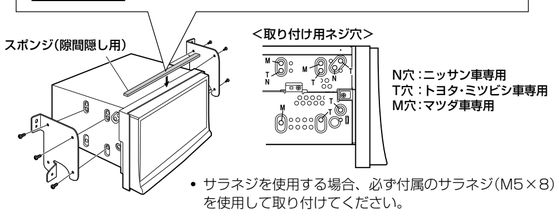
- 「XF11Z専用取付説明書」を参照し、ナビゲーション本体とディスプレイユニットを取り付けてください。

1 ディスクまたはSDメモリーカードの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。

2 ナビゲーション本体にブラケットを付属のバインドネジ(M5×8)でしっかり固定し車両にしっかり取り付ける。

- 本機取り付けの際、必要に応じてスポンジをご使用ください。

車両側の取り付けスペースと本機上部の間に隙間ができる場合は、点線枠を目安にして、付属のスポンジ(隙間隠し用)を取り付けてください。
(X9Z/X9ZA/X8Z/7WZのみ付属)



- サラネジを使用する場合、必ず付属のサラネジ(M5×8)を使用して取り付けてください。

3 パネル(インパネ)を取り付ける。

車両雑音から守るために

- アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。(ノイズが出るときはアースの場所をかえてみる)
- 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
- バッテリー電源コードとPIN接続コードは離す。
- ノイズサプレッサーを使う場合はできるだけ本機から離す。

5. 確認する

1 コード類を固定する。

シートレール等の可動部にはさみ込む、または突起部に当てる等コードを傷めないように注意して固定してください。

2 バッテリーマイナス端子を接続する。

3 エンジンキーをONにして、取扱説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。

4 ホーン(クラクション)、ストップランプ等の車両電装品が正しく動作することを確認する。

6. クイックセットアップ(販売店設定)を行う

取り付け完了後、初回起動時に「ようこそ」画面が表示されます。

ようこそ画面の はじめる にタッチすると、お客様のお車専用の音質設定や販売店登録、メンテナンスなどの設定を行います。
本設定終了後は、お客様向けクイックセットアップを行います。
お客様向けクイックセットアップについては、本機付属の取扱説明書「1. 初期設定」−「クイックセットアップをする」を参照してください。

ここでは、販売店向けクイックセットアップの流れについて説明します。本機付属の取扱説明書「9. 付録」−「クイックセットアップ(販売店設定)について」も参照し設定を行ってください。

クイックセットアップを行う前の事前確認
リアビジョンが接続されている場合で、リアビジョン側のシステム設定に[コーディネートカラーコントロール/プラズマクラスターコントロール] 設定がある場合は、本設定を行う前に必ずリアビジョン側を[ナビ]に設定してください。

1 ようこそ画面の はじめる にタッチする。

車種選択画面が表示されます。

2 画面の指示に従って車種/各外部機器の接続有無を選択し、決定 にタッチする。

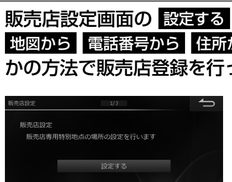
<設定項目>
- 車種選択(メーカー /車種)
- リアカメラ選択※1
- カメラ接続機器選択
  (インターフェースボックス接続)※2
- 汎用カメラ選択(サイドカメラまたはコーナーカメラ)
- スピーカー選択(サブウーファー)
- ステアリングリモコン選択
- リアビジョン選択

※1選択した車種にサイドカメラ/コーナーカメラ設定がない場合、または汎用カメラを接続し、「カメラあり」を選択した場合は「スピーカー選択(サブウーファー)へ進みます。
※2「なし」を選択した場合は、サイドカメラまたはコーナーカメラのどちらか1台、「あり」を選択した場合は2台まで選択できます。

- 選択した車種により設定項目が異なる場合があります。

各設定が終了すると確認画面が表示されます。
決定 → はい にタッチすると再起動します。

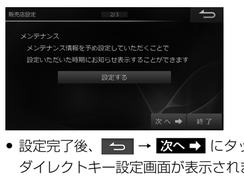
3 再起動後、クイックセットアップ(販売店設定)画面が表示されます。販売店設定をする にタッチしてください。



4 販売店設定画面の 設定する にタッチし、地図から 電話番号から 住所から のいずれかの方法で販売店登録を行ってください。

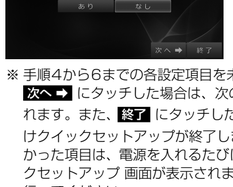
- 設定完了後、次へ にタッチするとメンテナンス設定画面が表示されます。

5 メンテナンス画面の 設定する にタッチし、オイル交換時期やタイヤ交換時期・車検時期等各項目を設定します。



- 設定完了後、 → 次へ にタッチするとカメラダイレクトキー設定画面が表示されます。

6 カメラダイレクトキー設定画面の あり または なし にタッチします。



※ 手順4から6までの各設定項目を未設定のまま 次へ にタッチした場合は、次の設定画面が表示されます。また、終了 にタッチした場合は、販売店向けクイックセットアップが終了します。設定されなかった項目は、電源を入れるたびに販売店向けクイックセットアップ 画面が表示されますので必ず設定を行ってください。

7 カメラダイレクトキー設定が完了したら画面の 終了 にタッチし、確認メッセージの はい にタッチしてください。

販売店向け専用チューニングが完了します。

販売店向けクイックセットアップ完了後は、お客様へ設定した内容をお伝えください。

7. 接続状態を知る

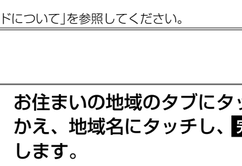
取り付けが終わったら、配線が正しく接続されたか確認をしてください。
本体の電源を入れて、GPSアンテナ、電源コード、周辺機器の接続状況を画面表示で確認することができます。また、本機の動きがおかしいときにも見てください。接続しているのに、「未接続」と表示されたらコード類を確認しましょう。

1 [MENU] / [▲ NAVI]スイッチを押します。

ナビメニュー画面が表示されます。

2 情報/更新 にタッチします。

3 車両情報 タブにタッチし、車両情報 にタッチします。



車両情報画面が表示されます。

- 車速パルスは、停車時等車速が入っていない時はOFFと表示されます。

8. テレビの初期設定を行う

本機で初めてテレビを見るには、B-CASカードを挿入し受信可能なチャンネルを登録する初期設定が必要です。

<B-CASカードを挿入する>

付属のB-CASカードの表面を上にして"カチッ"と音がするまで差し込んでください。

- B-CASカード裏面の金色端子部に触れないよう、カードの側面を持ってください。カード端子部に手を触れた場合、手に付着している見えない異物が端子部に付着し、カードの読み取り不良が発生する恐れがあります。
- 手ごたえがあるまで確実に挿入してください。
- 通常、B-CASカードを取り出す必要はありません。B-CASカードのテストが終了してもB-CASカード破損等の場合以外は取り出さないでください。
- B-CASカードについて詳しくは取扱説明書「テレビを見る」−「B-CASカードについて」を参照してください。

<チャンネルを登録する>

1 [MODE] / [♪ AUDIO]スイッチを押します。

AVソースメニュー画面が表示されます。

2 TV にタッチします。

3 お住まいの地域の郵便番号を入力し、完了 にタッチします。

4 お住まいの地域のタブにタッチして切りかえ、地域名にタッチし、完了 にタッチします。

5 お住まいの地域タブにタッチして切りかえ、県域にタッチし、ホームスキャン にタッチします。

ホームモードスキャンが実行されます。
スキャンしたチャンネルはホームモード(お住まいの地域のモード)のプリセット番号に自動的に記憶されます。

- ホームモードスキャンはしばらく時間がかかります。スキャンが終了するまでしばらくお待ちください。
- テレビの初期設定完了後、B-CASカードが正常に機能しているかテストすることができます。詳しくは取扱説明書「テレビ設定画面について」の B-CAS情報 を参照してください。